

「貯水池周辺斜面自動巡視点検システム検討業務（仮称）」見積依頼書に対する
質問への回答

質問 番号	質問	回答
1	見積仕様書(案)第4節 貯水池斜面2地区の所在地を開示可能でしょうか。	対象地区の平面図を添付します。
2	見積仕様書(案)第4節 SAR画像と光学画像の選定は受注者から提案することと理解していいでしょうか。もしくは、使用可能な解像度やデータ種別に制約はありますか。	受注者からの提案を想定しています。
3	見積仕様書(案)第4節 光学画像の差分解析とはDSM差分、オルソ画像差分、画像相関解析のいずれを想定されていますか。	受注者からの提案を想定しています。
4	見積仕様書(案)第2節、第3節、第5節 第3節に記載の『それ以外も含めて幅広く行うものとする』とありますが、第2節で貸与されるカルテには衛星以外の（例えばUAV、カメラ、IoTセンサ等）のデータが含まれますか。	含まれていません。
5	見積仕様書(案)第5節 巡視代替の対象は定期巡視のみでしょうか。それとも異常時巡視も含みますか。	定期巡視のみを対象としています。
6	見積仕様書(案)第5節 概念設計のレベルは、要求仕様書レベルでしょうか。それともシステム構成図レベルでしょうか。	システム構成図レベルです。
7	見積仕様書(案)第5節 初期投資、運用管理・更新などの継続的コストについて、算定精度に要求はありますか。	概算（初期投資、運用管理・更新費）を想定しています。
8	見積仕様書(案)第5節 システムにクラウド利用やAI画像解析の採用は可能でしょうか。	採用可能です。
9	見積仕様書(案)第6節 報告書以外に作成が必要な説明資料（PowerPoint等）があれば教えてください。	説明資料の作成は不要です。
10	見積仕様書(案)第6節 打合せ回数の想定があればご教示ください。	「打合せ」は今回の見積依頼には含まれていない項目です。
11	第4節 既存方法との比較検証 光学衛星、SAR衛星ともに、使用する衛星・データに指定（分解能、仕様等）はありますか。指定がない場合は、請負者の提案によるものと考えてよろしいでしょうか。	質問番号2の回答の通りです。
12	第4節 既存方法との比較検証 衛星データ（SAR及び光学衛星画像）の調達について、発注者で別途調達・貸与する、または別契約とする予定はありますか。請負者が調達する場合、データ購入費は直接経費として、見積徴収等により実費相当額を計上する想定でよろしいでしょうか（本歩掛参考見積では対象外とし、参考額を備考に記載する扱いでよろしいでしょうか）。	衛星データの調達は、受注者によるものとします。 データ購入費は歩掛に含めず、参考額を備考に記載して下さい。
13	第4節 4-1 干渉SARとの比較 干渉SARに用いる衛星データは「請負者で用意する」とされています。データの利用者（エンドユーザー）は請負者であり、発注者へは衛星データそのもの（生データ）は納入せず、解析結果のみを納入するとの認識でよろしいでしょうか。	データのエンドユーザーは受注者で、衛星データそのものは納入しないものとします。

14	第4節 4-2 光学衛星画像による差分解析との比較 仕様書では、干渉 SAR に用いる衛星データは「請負者で用意する」と明記されていますが、光学衛星画像については記載がありません。光学衛星画像は、発注者・請負者のどちらが用意するのでしょうか。また、請負者が用意する場合、画像データそのものの納入は必要でしょうか。	光学衛星画像の調達は、受注者によるものとします。 画像データそのものは納入しないものとします。
15	第4節 既存方法との比較検証 対象2地区について、施設名（同一施設内の2地区か、別施設か）、各地区の地すべりブロック数、位置、範囲（面積）、植生及び積雪の状況をご教示ください。なお、1地区は移動杭が設置された1つの地すべり斜面（概ね1ブロック）と想定しております。衛星データの必要量や解析の難易度に影響するため、見積の前提条件として確認させていただくものです。対象地区が未定の場合は、候補地区または想定されている条件（面積の目安等）をご教示ください。	施設名（同一施設内の2地区か、別施設か）、各地区の地すべりブロック数、位置、範囲（面積）については、対象地区の平面図を添付します。 植生については、移動杭周辺は道路沿いであるためほとんどなく、積雪については、1年に1回程度が想定される地区です。
16	第4節 4-1 干渉 SAR との比較 数量「12回」における「1回」の定義をご教示ください。別紙2-1では、大きい変位が生じた時期ごとに1回と数えているように受けられますが、干渉 SAR 解析を比較時期ごとに実施する想定か、1回の解析結果から各時期の変位を抽出して比較する想定かを確認させてください。	干渉 SAR 解析を比較時期ごとに実施する想定です。
17	第2節 貯水池周辺斜面巡視実態調査 整理票（カルテ）等について、様式が施設間で統一されているか、貸与形式（電子データ／紙）、対象期間、並びに1施設あたりの対象斜面数（又はカルテの枚数・記録件数）の目安をご教示ください。また、取りまとめは、施設単位で巡視の対象、頻度、点検項目・方法、体制、記録方法を一覧に整理し、現行巡視の課題を抽出する程度を想定しておりますが、よろしいでしょうか。取りまとめ項目の指定の有無、施設へのヒアリング・現地確認の可否もあわせてご教示ください。	整理票（カルテ）は、様式統一はされていません。 形式は、PDF ファイル、原稿ファイル（xlsx、doc）、もしくは紙です。 1施設当りの斜面数は平均して10程度です。 取りまとめの内容は、複数ダムの巡視の状況について一覧での整理と、現行巡視の課題の抽出です。 施設へのヒアリング・現地確認については、含みません。
18	第3節 代替技術適用検討 代替技術の調査は、衛星データを活用する技術を主としつつ、UAV、地上設置型センサ・カメラ等について、文献・公表資料により概要、適用条件、費用の目安等を一覧で整理する程度を想定しておりますが、よろしいでしょうか。メーカー等へのヒアリングの可否や、調査対象とする技術数の目安があればご教示ください。	代替技術の調査内容は、ご質問に記載の内容の通りです。 メーカーへのヒアリングは想定しています。 調査対象の技術数については、広く概査した上で深掘りする技術として、衛星利用技術以外で3つ程度を想定しています。
19	第3節 代替技術適用検討 代替の対象とする「巡視」の範囲をご教示ください。巡視員による目視確認・写真撮影・簡易計測等の定期巡視を代替対象とし、移動杭測量等の観測は第4節の比較検証の基準データとして扱う想定でよろしいでしょうか。観測の代替も対象に含む場合はご教示ください。	代替の対象となる範囲は、移動杭測量等の観測など、測量レベルの観測を含みます。 自動や半自動の地すべり観測計器による観測は含みません。
20	第4節 既存方法との比較検証 貸与される移動杭測量データの形式（座標の電子データ／紙）及び杭の数をご教示ください。また、対象地区の既往調査資料（地すべり調査報告書、ブロック区分図、対象期間の貯水位・降雨データ、その他観測データ等）の貸与の有無、並びに現地踏査の可否をご教示ください。	移動杭測量のデータ形式はxlsxです。 杭の数はおよそ50です。 資料の貸与は可能です。 現地踏査の実施は含みません。
21	第5節 自動巡視システム構想、概念設計 構想・概念設計について、①機構施設に共通的に適用できるシステム構成案（複数案）を提示し、施設ごとの個別構想は行わない、②コストは、構成要素ごとの概算（初期費用、年間運用費、更新費）と、モデル施設における一定	①：質問番号6の回答の通りです。 ②：質問番号7の回答の通りです。

	期間（例：10 年）の総費用を現行巡視と比較する程度、との想定でよろしいでしょうか。異なる場合は、想定されている検討範囲・精度をご教示ください。また、現行巡視の体制・頻度・費用等の資料は貸与いただけるでしょうか。	
22	業務全般 打合せ回数、報告書の部数及び電子納品の有無、並びに予定されている履行期間をご教示ください。	打合せについて、今回の見積依頼での取り扱いは番号 10 の回答の通りです。 報告書は電子納品で、印刷の部数は 2 冊です。 履行期間は 6 か月です。